

# はじめに

グローバル化の進展に伴い、ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて行き交うとともに、第4次産業革命におけるAIやIoTなどの革新的技術によって、これまでの既成概念を超えた新たなビジネスモデルが生まれてきています。

一方、我が国では少子・超高齢化や東京一極集中といった大きな課題を抱え、特に、地方における生産年齢人口の減少や人手不足、事業後継者不在は深刻な状況となっています。

阪神・淡路大震災から24年が経過し、その間、国内外から寄せられた多くのご支援や、市民や事業者の皆様の弛まざる努力により、神戸のまちは復興することができました。

しかしながら、神戸が「さらなる高み」を目指し、激しさの増す都市間競争に打ち勝っていくためには、今後見込まれる産業構造・就業構造の大きな変化に対応し、新たな産業の創出や成長産業の育成、市外からの企業・人材の呼び込みなどを通じて経済を活性化させ、神戸のまちを安定した成長軌道に乗せていかなければなりません。

本書は、神戸経済の歴史的な変遷から震災の影響、産業構造の特徴や現状について、各種統計データなどをもとに調査・整理したものです。

市民の皆様や神戸の経済および産業に関心を持つ方々が、ご理解を深めていただくうえで、少しでもお役に立つことを願っています。

平成31年3月

神戸市経済観光局長 小原 一徳